

第1部会意見の集約(7月7日分)

大分類	中分類	ポイント	意見	備考		
基本原則	情報共有	わかりやすさと情報格差・バリアの除去	企画段階からの情報の提供			
			市民と行政とのギャップのない公開情報			
			情報の発信は分かりやすく丁寧に			
			分かりやすい生きた情報の提供			
			高齢者や障がい者が安心・安全に生活できる情報の提供			
			バリアフリーと情報共有			
			年齢・性別に関係なく情報を共有			
			全ての市民へ情報が行き渡るように			
			全ての人に平等(公平)な情報を			
			新聞をとっていない人にも伝わる方法			
			障がい者、高齢者に情報が行き渡るようにする			
			市民の情報格差をなくす			
			情報格差をなくす			
			情報の共有の格差をなくす			
			情報を選択しやすい環境づくり			
			情報の共有と活用			
			市民間情報交流		市民どおしの情報共有	
					市民同士の情報交換も大事	
	市民のなかでも情報の交流を					
	市民同士の情報共有の場づくり					
	市民からの情報発信も広く受けられる場所を広げる					
	情報発信、交流の場の保障					
	市民の知りたい情報交換					
	市民活動や文化活動を知る、知らせるための情報の相互交換					
	わかりやすい市民生活の情報					
	市民全般に広く、早く知らせる事には、どの方法がよいかあらゆる手段を考える					
	個人情報		個人情報保護法の矛盾を思う			

コミュニティ	責務	市民と行政と市議会がそれぞれ独立した考え方をもとに、まちづくりの意見を出して相互に理解しながら、よりよいまちづくり「コミュニティ」のために努力する	
	個人の意識	自ら参加する地域社会	
		地域で子ども・高齢者を見守る、「あいさつ」をする	
		良好な隣人関係を作り、防災・防犯に努める	
		近所どおしで防犯につとめる、協力する	
		互いに助け合える関係に	
		地域の行事に参加しよう	
		地域にとけこむ心がけ	
		お互い様の気持ちで接する	
		声掛け合い、情報を互いに知る	
		日々の生活に意識をもって前向きに接する	
	住民自治	自立と自主的コミュニティ	
		市民自治とコミュニティ	
	課題解決	問題解決型のコミュニティ	
		助け合う場になりうる、という認識を持つ	
		高齢者のみの家庭や独居老人の孤独死をなくす地域社会のしくみづくり	
		地域のコミュニティの協働の手立ての再構成を。独居老人に対する新たな手立てなど	
		学童保育室を充実して子どもと高齢者のふれあいづくり	
		災害等の場合に助け合いのできるまちづくり	
		地域のコミュニティに生まれている新局面(PTCAのような)に期待する	
	これからの越谷市は農業を主産業として発展するために温度やCO ₂ の問題を解決するように努力するとともに、生活に必要な物も供給を求めうる他のまちとの共生を図る		
ネットワーク・交流・共有	地域で必要とされる人間関係のネットワークとコミュニティ		
	ネットワークとコミュニティ		
	コミュニティ同士の横のつながり(情報共有、交流など)をもてる場づくりが必要		
	地域コミュニティとテーマコミュニティの協働を進める		
	各コミュニティが連携して、地域の問題に対応する		
	多様なコミュニティが交流し、協働する場所をつくる		
	文化を共有出来る場空間		
	情報を共有出来る場		
地域の問題を共有し、解決出来る場			
参加しやすさ	イベント等参加し、地域の人等の交流をする		
	町内会の体質改善で住民のフォローアップを課題に迫れる町内会に積極的に参加出来るようなコミュニティの体制づくり		
システム・相談窓口	下駄履きで行ける身近な窓口		
	市民が気軽に相談出来る窓口		
	「コミュニティの範囲」は13地区でなく、5~6つに分ける。理由は自立して考えることが出来るから。自分たちが努力して互いに生活できるまちづくりのために		
		13地区センターの協働センター化	